

(様式2)

令和 2 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590100606		
法人名	株式会社 大栄		
事業所名	グループホームさくらの里 フルーツ館		
所在地	新潟県新潟市南区茨曽根1723番地1		
自己評価作成日	令和3年2月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1590100606-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和3年3月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設周辺には桃や梨の畑が広がり、春には一面に桃の花が咲きます。入居者様は静かな環境の中、季節を感じながら穏やかに過ごされています。
今年度は新型コロナウイルスの影響で地域の方との交流ができませんでしたが、例年は地域のお祭りや文化祭に参加したり、施設に訪問して下さる方とお話しをする機会もあります。交流を持つことで地域で生活していると感じながら過ごせるように支援しています。
入居者様個々のご要望を引き出し、そこに真摯に向かい合うことで安心して生活できるように各職員が努力しています。信頼関係を築き、穏やかに生活できるホームを目指しています。
主治医や訪問看護ステーションと連携し安心してケアを受けられるようお手伝いしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○事業所の取り組みと地域交流
「グループホームさくらの里」は11年目を迎えたフルーツ館と3年を迎えるフラワー館の2ユニットの事業所である。施設周辺は桃や梨の産地でもあることから、四季折々に花と果実の甘い香りの変化を楽しみながら住み慣れた地域での生活支援を基本として活動している。事業所内の設備も新しく、丸太の梁を使用した天井は高く、床、壁面等にも木材を使い木の温もりも心地よく感じられる。また、もう一つの「我が家づくり」を目指し、各ユニットを繋ぐ多目室は開放的で随所にソファが設置され、敷地内には畑もあり、野菜作りを楽しむこともでき、自然との関わりの中で心安らぐ環境づくりの配慮がなされている。事業所は自治会にも加入し、会議への参加や行事への参加の他、地域の学生を対象とした、認知症サポーター養成講座の場を設けるなど福祉の啓発にも努めている。また職員は朝礼時、基本理念を基に唱和し「もう一つの我が家づくりを目指します」を掲げ事業所の目標を意識しながら、住み慣れた地域で、その人らしい暮らしが継続できる支援に努めている。

○医療機関との協力関係

医療機関の医師との協力で24時間連携可能な状況にある。重度化や終末期ケアに関しても訪問看護師が週1回来所し、主治医との連携を得るなど状況確認がなされている。医師、看護師、家族共情報を共有し、安心して医療が受けられる支援体制も整備されている。

○関係機関の連携について

運営推進会議は、利用者、自治会長、包括支援センター等々の参加の下、定期的に行っている。現在は事業所の現状を書面で各家族、委員に配布し、質問、要望等の対応に努めているが、今後も家族への参加協力の働きかけに期待できる。また、新潟市南区内の介護事業所の総会やイベントの集会等にも参加し地域に密着した活動が展開されている。